



ハッピーこまちゃんと
やしおの公共施設についてみんなで考えてみよう!!

3分で読める!! アセット通信

アセット通信
2017年10月
第4号

八潮市の人口はいつから減り始めるんだらう?

これまでのアセット通信では、市の公共施設が古くなっていることや、今後の維持管理・建替えに多くの費用が必要となることをお伝えしました。

4号では、公共施設を使い、支えている市民（人口や構成）がどのように変わっていくのかお話しします。

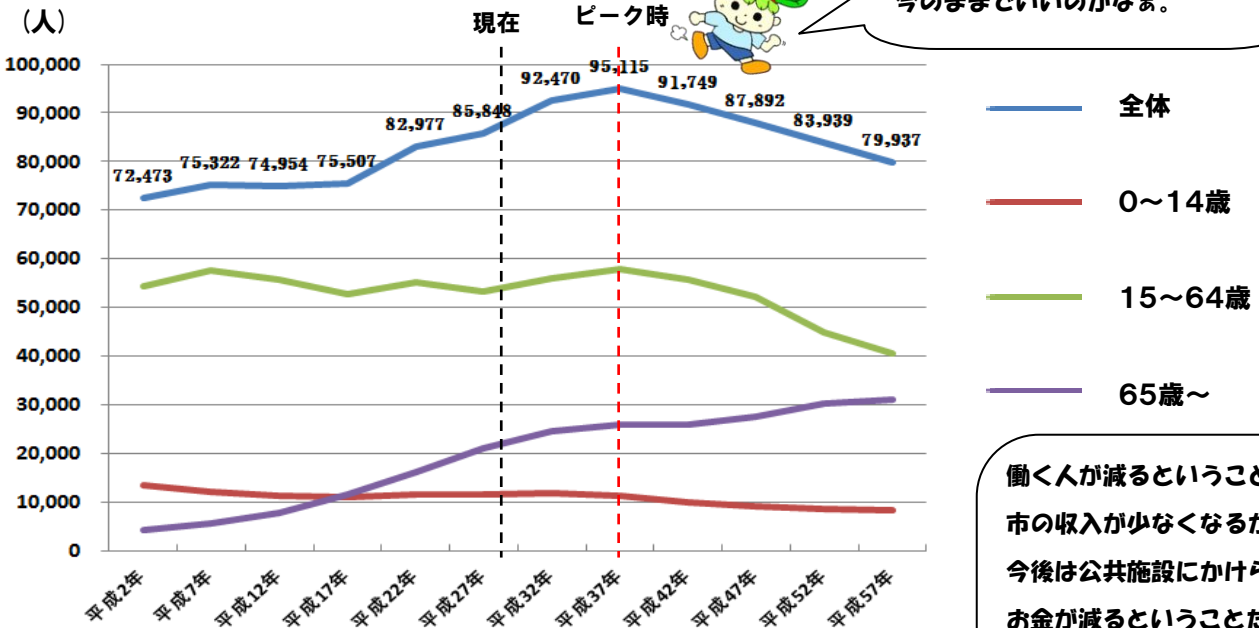


寿楽荘
(築4年)



ひまわり学童クラブ(築35年)

八潮市の人口推計



この先人口が減るのに、公共施設は今のままでいいのかなあ。

働く人が減るということは、市の収入が少なくなるから、今後は公共施設にかけられるお金が減るといことだね。年齢の構成が変わると、お金の使い道も変わってくるかもしれないね。

出典：八潮市公共施設マネジメント白書

人口は平成37年まで増え続け、その後95,115人をピークに減る見込みです。

高齢化も一層進み、働く担い手（15～64歳）が減り続け、将来の働く担い手（0～14歳）も減る見込みです。



八潮市公共施設マネジメントアクションプランを策定しました！

アクションプランは、市の公共施設を今後どのように維持管理し、整備していくべきか、今後10年間の具体的な行動計画を示しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

八潮市 公共施設マネジメントアクションプラン



次号では、大切なお金の使い道についてお話しします。

発行 八潮市役所
アセットマネジメント推進課
TEL:996-2111(内:470)